

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	佐賀県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	唐津市文化遺産総合活性化プロジェクト		【計画の改善時期】 平成 年度
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
唐津市文化遺産総合活性化プロジェクトは、「唐津文化遺産の日」を創設し、市民が歴史的・文化的資源をまちの宝ととらえ、文化活動や交流の場として積極的に使うことで歴史を展（ひら）き、未来に伝えて、新しい文化を拓いてゆくために、城内地域にある文化遺産を中心として文化遺産の魅力を発信するプロジェクトです。唐津市の中心市街地の中でも、城下町の風情が色濃く残る城内地区を中心に、歴史的建造物や文化施設などの文化的資源を活用し、「唐津文化遺産の日」には、それらの施設を広く市民に開放し、街の魅力を図ることを目的とします。唐津市の貴重な有形文化財の「旧高取邸、旧唐津銀行」など多くの文化施設にて、無形民俗文化財である「唐津の民俗芸能」や「唐津焼など伝統工芸」などを、開放した文化施設を訪れる人々に紹介し、観光振興・地域経済の活性化を推進するものです。			
6 実施体制			
唐津市は、実施計画の推進のため、実施主体である「唐津文化遺産の日」実行委員会と連携するとともに、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。 ・未来創生部文化振興課：事業実施における連携及び市施設の取扱等に関する指導・調整等 ・教育委員会生涯学習文化財課：文化財の取扱等に関する指導 また、補助事業は次の団体が実施する。 ・「唐津文化遺産の日」実行委員会（委員長：馬渡雅敏）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 15,252 千円	平成31年度要望額： 4,547 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
唐津市の貴重な文化財への理解と関心が深まり、人材の育成、観光客の増加など地域活性化に寄与することができる。 ①市民の文化遺産への興味、関心のある人々の裾野の拡大が図れる。 ②唐津で継承されている伝統芸能に触れる機会を提供し、市内外から唐津の文化に興味を持ち訪れる人々の拡大が図れる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところありません。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	唐津市未来創生部文化振興課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市内観光文化施設 (曳山展示場) の入場者数			関連事業:	①・③・④	
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 74,330 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 76,380 人					
設定根拠 1 :	年 1% の増加を目標とした。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
76,929 人	73,443 人	74,330 人	75,000 人	76,380 人	76,380 人	
127%	-43%	0%	33%	100%	100%	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	市民ボランティアである唐津伝統文化コーディネーターの参加人数			関連事業:	②・③・④	
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 40 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 50 人					
設定根拠 2 :	多くの市民の参加を目指す					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
30 人	35 人	40 人	45 人	50 人	50 人	
-100%	-50%	0%	50%	100%	100%	

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	唐津市文化遺産紹介映像パート4（文化財総集編）の作成					実施団体：	唐津文化遺産の日実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	平成31年度には唐津伝統文化コーディネーターにより地域の歴史、伝統文化、芸能、工芸などについて調べ、それらを網羅した唐津市文化遺産を映像によって分かりやすく紹介するDVDの第3弾の「唐津文化遺産の魅力・パート4（文化財総集編）」を制作します。										
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	地元新聞やテレビによるDVDの紹介を通して、一般市民からのDVD追加依頼を図る。また「YouTube」や「フェイスブック」などを通じてDVDを発信し、広く市民活用できるように図る。DVDの再生回数を指標とする										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 100 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 200 回										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
25 回	50 回	100 回	150 回	175 回	200 回						
-75%	-50%	0%	50%	75%	100%						
事業②：	唐津伝統文化コーディネーターの養成講座					実施団体：	唐津文化遺産の日実行委員会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	唐津文化遺産総合活性化プロジェクトの成功のため、地域の歴史、伝統文化、工芸、芸術、芸能について学び、唐津市文化遺産の興隆へ取り組む市民ボランティアである唐津伝統文化コーディネーターの養成講座を開講します。 ○期間：平成31年6月から平成32年2月 ○内容：文化遺産の専門家を招聘し、月1回年6回開催する。										
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	講座参加者中から約50名を目標として、ボランティアリーダーとして「唐津文化遺産の日」の運営委員などに育成し活動を継続する。										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 30 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 50 名										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
30 名	35 名	40 名	45 名	50 名	50 名						
0%	25%	50%	75%	100%	100%						
事業③：	「唐津文化遺産の日・2019」の開催					実施団体：	唐津文化遺産の日実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	「唐津文化遺産の日・2019」を開催し、その期間中、文化財施設にて、伝統芸能の実演、唐津焼など展示や体験講座など、文化財の魅力を紹介する市民まつりを開催する。唐津市の文化財を開放し、普段入れない場所やその会場で地元の伝統芸能の上演や唐津焼などの文化遺産の展示などによって多くの市民の参加を目指し開催する。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	継続で開催し、佐賀新聞や西日本新聞、唐津ケーブルテレビ、地元TVニュースなど市民の人々に広報し、多くの市民が「唐津文化遺産の日」に興味と理解を深め、参加者の増加を目指す。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 300 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	300 人	475 人	650 人	825 人	1,000 人						
	0%	25%	50%	75%	100%						

事業④：	唐津文化遺産・親子スタンプラリー	実施団体：	唐津文化遺産の日実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	「唐津文化遺産の日」期間中に次世代継承のために、地域の親子が伝統文化、芸能などを楽しく分かりやすく学び、体験できる機会として、文化遺産親子スタンプラリーを開催する。子どもたちが文化財を訪れ、文化財の解説を聞いたり、地元の伝統芸能や唐津焼のアーティストによるワークショップなどを体験したりすることによって、文化遺産に親しむ機会をスタンプラリーの形態で楽しく参加できるようにする。					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	佐賀新聞や西日本新聞、唐津ケーブルテレビ、地元TVニュースなど市民の人々に広報し、多くの親子が「唐津文化遺産・親子スタンプラリー」に参加する人々の増加を目指す。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 6 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10 団体					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
団体	6 団体	7 団体	8 団体	9 団体	10 団体	
	0%	25%	50%	75%	100%	